

自治会の活動

みどり坂自治会



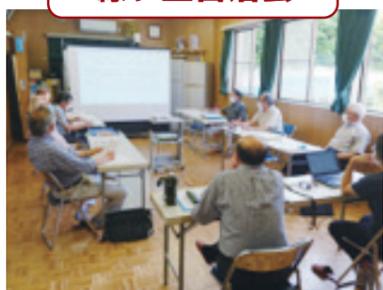
▲机を置かずに、壁沿いに座ること
で出席者の間隔を確保しました

鹿島台自治会



▲会員の会費は地区センターで個
別に集金しました

緑ヶ丘自治会



▲窓を全開にし、参加者を通常より
限定して開催しました

日鉱住宅地自治会



▲会長・会計・防災部長のみで会議
を開催し、報告は書面で行うこと
としました

コロナ禍の中、自治会活動も停滞してしまいました。総会や役員会、春の一斉清掃など多くの自治会の行事が実施できませんでした。6月15日から長らく閉鎖されていた地区センターが条件付きで利用可能になると、それぞれ工夫をして、活動を再開しました。総会や役員会は人数を減らしたり、分散して開催したりと密にならないよう注意して開催していました。また、回覧板を地域の掲示板に張るなどの工夫をした自治会もありました。今後は、コロナと上手に向き合いながら自治会活動をしていただければと思います。

コロナ禍での自治会活動の相談は地域協働課まで

自治会ホームページを 立ち上げ

万願寺自治会では、ホームページを立ち上げ、会員の方へさまざまな情報を発信しています。また、ホームページの存在を会員に知らせる手段として自治会夏祭りでは会員にランタンを配布し、その中に、ホームページにつながるQRコードを添付するなど、周知活動にも工夫を凝らしています。



▶万願寺自治会長 齋藤さん



▶自治会で配布したランタン



◀ランタンに添付した自治会HP
のQRコード

自治会ホームページ作成などに使える補助金（自治会活動インセンティブ補助金）があります。詳細は8ページをご覧ください。

コロナと向き合うコミュニティ

市長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の拡大は、お互いに支え合いながら暮らしていくこととする私たちにあって、大きな脅威です。目に見えないコロナウイルスは、私たちの大切な家族、友人を知らないうちに傷つけ、命を奪うこともあります。

新型コロナウイルス感染症対策により、人と人との気軽なふれ合える地域活動が大きく制限されています。リモートによるコミュニケーションも実施されていますが、孤独感を感じている方も多いと思います。

先のないコロナ禍においては、人と人とのつながり、安心感がなによりも大切です。

新しい生活様式を踏まえた地域活動を継続、発展させることについて、地域の皆さまとともに取り組んでまいります。

日野市長 大坪 冬彦

地域コミュニティを私たち が応援します！

自粛期間中、地域コミュニティの大切さを皆さまも感じたのではないのでしょうか？
これからは、新しいことにも挑戦し、このようなときだからこそつながる地域コミュニティを目指し、一緒に頑張りましょう！

地域協働課



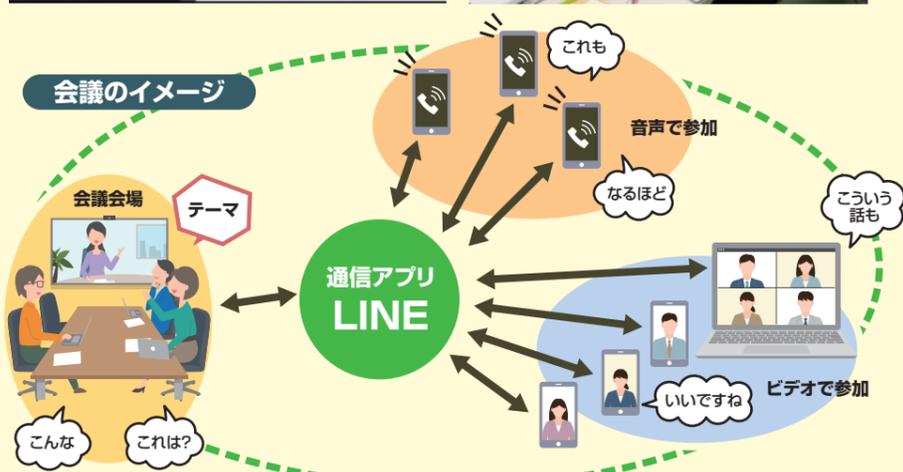
※撮影時のみマスクを外しています

ホームインミーティング（おうちで会議）

コロナ禍の中、三中地区アクションプランのメンバーで、LINEを利用したオンライン会議を開催しました。久しぶりにメンバーの元気な顔が見られて話も盛り上がりました。気付くと90分経過して中身の濃い会議となりました。参加したメンバーからは、今後は、地区を越えた人が集まり、地域コミュニティを活性化できる取り組みを話していきたいとの意見がありました。意外と簡単にできるオンライン会議を普及させていければと思います。

三中地区アクションプラン

検討会議をインターネットを使って開催します。最初はドキドキですが、声を聞けるのは楽しいので皆さまの参加をお待ちしています。



会議のイメージ



通信アプリ
LINE

音声で参加

ビデオで参加

こんにちは

これは？

これも

なるほど

いいですね

こういう話も